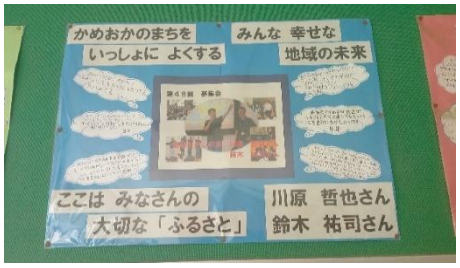
令和６年度　高松市地域学校協働活動【活動報告】

モデル校	亀阜小学校
地域学校協働活動推進員 （コーディネーター）	１名 （主な役職）PTA 会長　亀阜おやじの会代表

主な活動内容

No	項目	内容
①	夢集会	「夢　～未来の亀阜校区に夢をもつ～」として、年間３回実施した。「地域への思い」・「人権教育」・「キャリア教育」をテーマとし、講師を招いて講演を行った。 また、コーディネーターが中心となり、学校や児童などの要望を聞きながら、講師の人選、当日の司会進行などを行った。 講師の人選は亀阜地域に所縁のある講師を主に選定することで、地域との連携を深く図ることができた。     

②	ヤゴ救出大作戦！	５月に、有志の子どもたちが集まり、プール清掃前に 3,000 匹以上のヤゴを救出し、中庭の観察池に放流した。 また、亀阜おやじの会の昆虫担当者の方々が３年生児童を対象に、生き物の授業を行った。授業で使用するパワーポイントなどは亀阜おやじの会の昆虫担当者の方々とコーディネーターとで検討しながら作成した。 当日は卒業生の中学生も講師として参加し、卒業しても亀阜小学校と関わり続けることができるという良いモデルケースとなった。    
③	夜の体育館を楽しもうぜ！	１０月に、体育館にある避難所設営の備品を使い、５・６年生を対象に防災キャンプを実施した（PTA・おやじの会共催）。コーディネーターとおやじの会が中心となり運営を行った。また、夜には全校生に対して校舎を開放し、夜の学校探検も実施した。 児童が防災備品について理解し、活用することで、緊急時において、避難所設営の一助となることを期待している。  

④	正門前のイルミネーション設置	コミュニティ協議会の支援を受け、明るいまちづくりと防犯を兼ねて、正門前にイルミネーションを設置した。コーディネーターが中心となり、計画、機材手配から設置までを行った。23 時過ぎまで点灯したが、亀阜小学校の児童だけでなく、塾帰りの中学生や高校生をも対象とした防犯効果を発揮しており、地域からも感謝されている。 また、点灯式を教員ー児童－地域で行うことで 3 世代交流にもつなげることができた。メディアにも取り上げられ、学校が地域のシンボルとしての役目を果たしていることが改めて認識されたと感じている。年末までの点灯が終わったあとも、一部を防犯灯として点灯を続けており、一定の防犯効果を果たしている。    
⑤	地域・学校の懇談会	８月と２月の年２回、学校運営協議会に参加していない教員と地域が話し合う場を設定し、地域が子どもたちのためにしたいこと、学校が地域に助けてほしいことなどについて、意見交換を行った。話し合いを通して、保護者による校外学習の引率や新しいジャンピングボードの制作が実現した。 また、12 月には、児童会と地域が話し合う座談会を実施した。正面玄関にリニューアルする横断幕のデザインや、新しいイベントについて児童から提案があった。横断幕は 2 月に完成し、除幕式を行った。新しいイベント（学校かくれんぼ）については、3 月末に PTA・おやじの会の協力のもと、無事開催された。

		今後もこのような懇談会を継続し、亀阜校区がより良くなるように取り組んでいきたい。   （→からのジャンピングボード制作）  

成果・効果

・地域が思いをもって、主体的に活動や援助をしてくれている。
・学校運営協議会の中だけではなく、コーディネーターや地域の方と、日頃から気軽に相談・協力できる環境があることで、地域や保護者と連携を図りつつ、学校の教育活動がより良いものになった。
・亀阜プライドの醸成にもつながった。